

日本地形学連合 地形の学校 2026 地“形”学と外的営力の推定

日本地形学連合では、経験豊かな会員が、若手会員や一般の方々も対象に、講義や実習を行っています。今年度は「地“形”学と外的営力の推定」というテーマで講演会を開催します。

日時 2026年9月28日(月) 10:30-16:40(予定)

9月26日(土)・27日(日)に同会場にて2026年度学術大会が開催されます。
こちらへもぜひご参加ください。

講師 柏谷健二 先生

日本地形学連合元会長、金沢大学連携研究員・名誉教授
琵琶湖博物館特別研究員

方式 対面(定員50名)およびZoom(定員300名)によるハイブリッド開催

会場：京都大学宇治キャンパス 総合研究実験1号棟4階 遠隔会議室(401)
Zoomからの参加の場合、接続情報は開催日の数日前にご連絡します。

参加費

(会員) 学生 1,000円, 一般 2,000円
(非会員) 学生 3,000円, 一般 6,000円

【参加申込時に入会される場合は、会員価格で参加可能】

CPD 5.0単位 (「地形の学校」は、CPD履修実績として登録可能)

申込

(9月18日(金)締切)



【講演の概要】

地形学は地球科学の一分野であると共に文字通り「形」に関する科学でもある。従って、構成物質の物性や場に関する知見のみならず形に関する議論も不可欠である。しかしながら、近年では「地“形”学」自体に関する議論は必ずしも多くはないので“形”も考慮した地形学を議論の対象として取り上げる。本講義では地“形”学の特徴に関する事例(主として水系)と「形」の変化をもたらす外的な営力に関するいくつかの知見を紹介する。

1. 水系(河川と雨溝)の構造とフラクタル
 - 1) 河川システム 2) 雨溝システム
2. 水系の発達と外的営力
3. 外的営力の推定
 - 1) 長周期($10^3 \sim 10^5$ 年) 2) 中周期($10^2 \sim 10^3$ 年) 3) 短周期($10^0 \sim 10^2$ 年)

主催：日本地形学連合

お問合せ：日本地形学連合行事幹事会 (events@japangeomorphology.org)
会場担当：小暮哲也(京都大学防災研究所)



日本地形学連合
Japanese Geomorphological Union